

業務資料 No. 460

昭和50年度

市場調査報告書

ボリビアの稲作と市場

昭和53年2月



国際協力事業団

国際協力事業団		
受入 月日	'84. 4. 10	702
		81.4
登録No.	03169	ESE

425

は し が き

本調査は、当事業団在外支部が管内移住地の主要生産物に関する生産、流通機構等をミクロ的に把握する事を目的に実施している市場調査の昭和50年度分としてサンタクルス支部が実施したものである。

国際協力事業団

移住第1業務部長

JICA LIBRARY



1054399[9]

目 次

I 緒 言	1
II 稲作の現況	
1. 概 況	2
2. 生産地域	2
3. 栽 培	5
4. 栽培品種	6
III 米の生産と流通	
1. 人 口	9
2. 生 産	9
3. 消 費	11
4. 流通および価格	13
5. 輸出・輸入	23
6. E N A	24

【 緒 言

1. 調査の目的

ボリビア国内の稲作の栽培現況と市場関係を調査し、管内移住地首農の資料に供する。

2. 調査者

サンタクルス支部 サンファン事業所
サンタクルス支部 サンファン試験農場

3. 調査期間

昭和50年11月24日～昭和50年12月3日

4. 調査地

トリニダ、ラパス、オルロ、ボトシ、スークレ、コチャバンバ、サンタク
ルス。

Ⅱ 稲作の現況

1. 概 況

ボリビアは、南緯9度から23度の間位置し、緯度の上では、熱帯、亜熱帯に属するが、国土の西側約30%は、山岳高冷地であり、70%の東側が高温多湿地帯となっている。従って、当国の稲作は、大部分がサンタクルス州を中心に東側において栽培されている。しかし、稲作の普及程度は、適地の広大さに比べると低く、その一部は、牧場として利用されているものの、多くは、未利用のまま放置されている。また、技術水準も極めて低く、例外的に完全機械化経営も見られるが、ほとんどは、焼畑式による人力栽培の域を出ていない。

国としては、1972年から、ENA と称する政府機関を設置し、米の生産に積極的な姿勢を示しはじめており、今後の政策いかんによっては、重要な米生産国と成り得る可能性を持っていると云えよう。

2. 生産地域

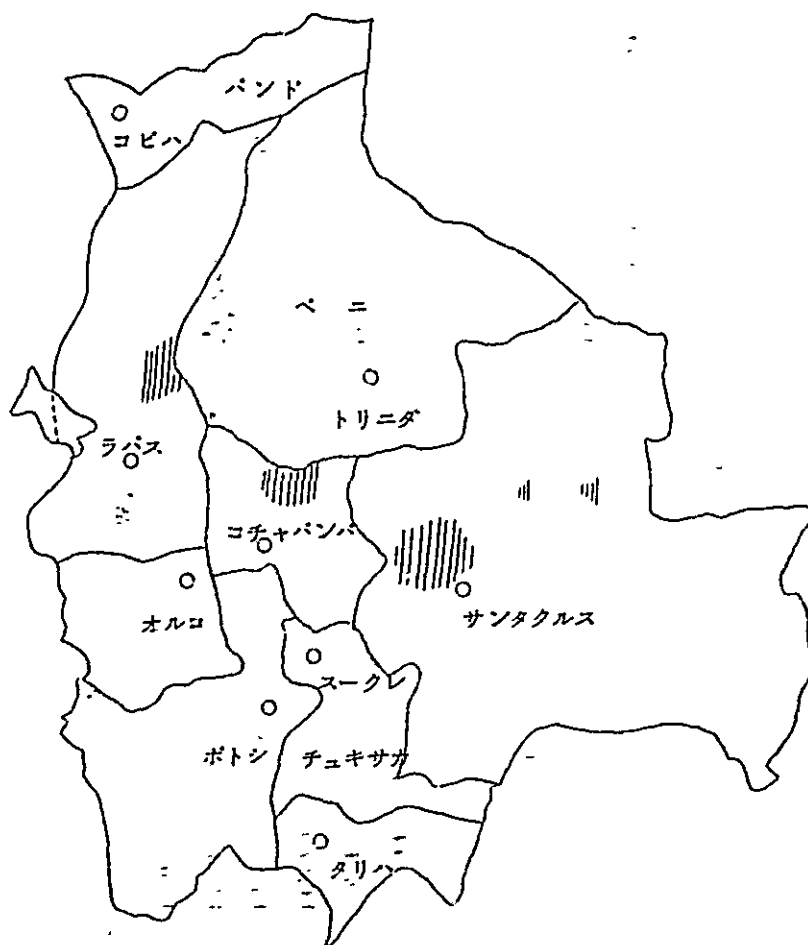
当国の稲作は、サンタクルス州に集中しており、1974～1975農年度を見ても、栽培面積は、約55,200 ha と全栽培面積の86%を占めている。生産量になると、さらにその比率は高く、約90%にまで達している。同州の中では、サンファン移住地の存在するサンタクルス市北西部一帯が主産地となっている。

その他の生産地域としては、ラパス州のカラピナを中心としたユンガス地方とコチャバンバ州のチャバレ地方とがあるが、その生産は極めて少なく、栽培面積を見ても、前者が、約5000 ha で全体の8%、後者が、約4,000 ha で全体の6%に過ぎない。

栽培規模は、全体的に小さく、全国平均で一戸当たり約2 ha に過ぎず、サンタクルス州でも平均2.7 ha、その他の州では、さらに小さく、コチャバンバ州で1.8 ha、ラパス州で、1.2 ha 程度である。これに比べ、日系栽培者の規模は、極めて大きく、サンファン移住地の平均栽培面積は、14.5 ha にまで至っている。

現在の段階では、上記3州以外には、稲栽培地域としては、見るべきものは無いが、特記すべき事項として、台湾政府から農業技術協力団一行が、ベニ州トリニダ市近郊で稲の試作を行っており、同地域には、稲の適地と思われる平坦地が多いだけに、今後の動向が注目される。しかし、ベニ州が稲作地帯として開発されるためには、まず第一に、道路網等運搬手段の整備が不可欠である。

第1図 ポリビアの稲作地帯



第1表 種の栽培農家戸数及び栽培面積（実績と計画） '68~'75実績 '76~'80計画

年	ラ		パス		コチャパンバ		サンタクルース			計		
	戸数	面積 ha	戸数	面積 ha	戸数	面積 ha	戸数	面積 ha	戸数	面積 ha	戸数	面積 ha
1967~68	1287	952	510	627	123	1.23	8653	32303	373	33882	10450	33882
68~69	3980	5466	810	1607	1.98	1.98	12170	42221	347	49294	16960	49294
69~70	4000	6000	1160	2300	1.98	1.98	13040	41470	318	49771	18200	49771
70~71	4177	7466	1477	3068	2.09	2.09	13072	35534	272	48088	18726	48088
71~72	5534	7500	1802	3283	1.82	1.82	15592	43222	277	54005	22928	54005
72~73	6003	8500	2127	3478	1.64	1.64	17136	28095	164	40073	25866	40073
73~74	7672	6800	2452	3873	1.58	1.58	18679	37494	211	50167	28803	50167
74~75	6741	5077	2677	4005	1.50	1.50	20223	55200	273	64282	31641	64282
75~76	9810	5462	3102	4355	1.40	1.40	21766	59765	275	69582	34878	69582
76~77	10879	5846	3427	4705	1.37	1.37	23309	62706	269	73259	37615	73259
77~78	11948	6231	3752	5055	1.35	1.35	24853	65649	264	76885	40555	76885
78~79	13017	6615	4077	5405	1.33	1.33	26396	68588	260	80608	43490	80608
79~80	14086	7000	4402	5755	1.31	1.31	27940	71529	256	84284	46428	84284

資料： Ministerio de Asuntos Campesinos y Agropecuarios
Empresa Nacional del Arroz

3. 栽 培

稲栽培地域の気候は、雨季、乾季が比較的明確に分かれている関係上、この要素が栽培季決定の制限因子となっており、その栽培は雨季に限定されている。当国の稲栽培の大部分は、原始林、再生林を伐採、焼払って、そこに栽培するという焼畑農法で、春先の乾季に伐採、山焼きをし、雨季入りが播種期となって、雨季明けが収穫期となっている。播種は、人力による点播がほとんどである。管理作業面での最大の問題点は、雑草対策であり、雨季の降雨は、量・日数共に多く、雑草発生量は極めて多い。現在の技術レベルでの雑草対策としては、雑草種子量を少なくするという所に重点がおかれ、これに土地の肥沃化も加味して、畑を再生林化した後、再度焼畑するという方法がとられている。収穫は、一般に、穂摘みの方法がとられている。穂摘み法の利点としては、天候に大きく左右されることなく収穫し得ること、乾燥が容易であること、稲刈りが容易であること、脱穀調整が容易であることがあげられている。ただ、穂摘み法の能率を上げる為には、栽培品種選定において、穂数型は避けられ、Dorado 種のような、穂重型の種を選ばなければならない。

なお、このような原始的な農法が大部分を占めている一方、牧場との輪作としての大規模な機械化農法や、サンファン移住地に見られるような、永久耕地造成による機械化農法も徐々にではあるが増加の傾向にある。しかし、機械化農法導入の場合は、地力の消耗が激しく、施肥が必要となり、雑草量も多くなるところから、除草剤の使用も技術化して行かなければならないが、当国では、肥料、農薬の生産が無く、高価な輸入品に全てをたよっているのが現状で、これが機械化の大きな阻害要因となっている。

政府機関である BNA は稲作振興の方策として、現状が一戸当たり栽培面積の増加を期待しえない、焼畑農法が主体となっていることを前提に、栽培農家の増加を目論んでいる。しかし、当国においても、人口の都市集中化の傾向があり、稲作になんらかの好材料がない限り、計画通りの生産農家増は困難であると考えられる。やはり、生産合理化を図った大型機械農法の導入が先行き不可欠な稲作振興の条件となろう。

4. 栽培品種

当国での栽培品種は、収穫方法が穂摘みを主体としている関係から、草丈の高い、穂重型のインディカタイプが主要品種となっており、その多くは、北米、ブラジルから導入されたものである。主要品種としては、第2表に示されているようなものがあるが、EINAの意向としては、輸出商品として、質、量をそろえることと、サイロ利用の効率を高めることを目標に、今後は、Dorado, Carolina, Blue bonnettの3品種程度に制限したいとのことである。

第2表 稲主要品種の州別栽培面積(1974)

品種	州	サンタクルス	コチャパンバ	ラパス	計
Dorado		25,073	102	—	25,180
Carolina		6,090	205	—	6,295
Pico Negro		4,056	150	—	4,206
Cateto		568	309	4,059	4,936
Blue bonnett		1,358	3,107	223	4,688
Down		1,678	—	1,041	2,719
その他		666	—	1,477	2,143
合計		39,494	3,873	6,800	50,167

資料出所: Empresa Nacional del Arroz

サンファン移住地の栽培品種は、俗称Pico Negroと呼ばれるNove nta dia Branco種が最も多く、約55%を占めている。次いで、Blue bonnettが27.3%栽培されている。

第3表 サンファン移住地の品種別栽培面積(1975)

品 種 名	面積 (ha)	比率 (%)
Pico Negro	1,470	54.8
Blue bonnett	734	27.3
Down	168	6.3
Dorado	68	2.5
Noventa dia Colorado	91	3.4
台中65号	39	1.5
その他	115	4.2
合計	2,685	100

資料出所: サンファン農業協同組合 (但し組合員110名分の集計値)

各品種の特性は、サンファン試験農場の試験結果によると第4表のごとくである。

第4表 稲の栽培品種特性

品 種 名	生育日数	茎 長	穂 長	初 収 量	1,000 粒 重	精米歩 止 率
	日	cm	cm	kg	g	%
Dorado	127	73.8	18.7	2,415	38.1	71.0
Blue bonnett	137	70.2	19.2	2,443	25.8	72.2
Kateto	123	76.8	17.4	2,424	38.4	72.9
Lguape	124	84.0	19.6	2,703	34.6	70.7
Dawn	119	54.8	16.2	1,882	22.3	66.2
Saturn	123	62.1	17.7	2,370	22.8	72.4
Noventa dia Blanco	130	73.2	18.3	2,613	33.4	73.2
Pratao	102	75.6	19.5	2,747	39.3	72.1
森林21号	123	61.9	15.7	1,971	29.9	64.0
ハッサクモチ	97	58.1	15.5	2,310	26.5	69.2
ミズハタモチ	100	43.6	13.7	1,734	26.8	-
台中65号	122	61.8	16.5	1,504	27.5	65.4
1R8号	147	35.4	17.3	2,747	32.3	69.3
1R22号	147	35.4	17.5	2,273	23.1	75.5

資 料 : サンファン試験農場 試験報告書

Pico Negro 種は、サンファン入植者、加藤重則氏が約10年ほど前にブラジルより導入したものであり、やや短稈の穂重型種で、大粒であり、収量も安定しており高い。また、Blue bonnett 種は、加州米と呼ばれるもので、極晩生の長稈、長粒種で、食味良く、当国では、一般品として取扱われている。なお、この種には、短稈性のものもあるとのことである。

しかし、当国には、稲についての種子供給機関や、育種関係の研究機関が無いところから、一応上記のごとき、品種分類は、なされているものの、品種固定がなされておらず、混種のケースが極めて多く、また普及指導業

務も欠除している為、地域によって異種同名や同名異種のケースも多く見られる。

当国が稲作振興を図り、米の輸出国にまで発展するには、試験研究機関や普及指導機関の充実強化も不可欠な条件であろう。

Ⅲ 米の生産と流通

1. 人 口

当国内の消費人口を知る手掛りとして、Bolivia en Cifras および Almanaque 1975 から、居住地域別に、現在人口を推定すると次のごとくなる。なお、当国では、高冷地帯と低地帯では、居住民族が異なり、従い食生活にも差異が認められる。

総人口	560万人	
都市居住者	200万人	36%
郡部居住者	360万人	64%
高冷地居住者	360万人	
都市居住者	150万人	42%
郡部居住者	210万人	58%
ラパス州，オルロ州，ポトシ州，チュキサカ州		
中低地居住者	200万人	
都市居住者	50万人	25%
郡部居住者	150万人	75%
コチャバンバ州，サンタクルス州，ベニ州，バンド州，タリハ州		

2. 生 産

当国の年次別生産量は第5表のとおりである。1962年以前の生産量は、白米で2万トン台であったものが、1963年以降3万トン台となり、近年は飛躍的な増産により1975年産米では、73,500トンにまで達している。しかし、ha 当たり収量を見ても明らかなように、技術水準には、それほどの進歩が見られず、生産性は低い。また、年差、地域差もかなり大きい。

第6表、第7表は、主要生産州の作付面積、生産量の実績および計画であるが、これをみると、やはり、サンタクルス州の生産性が最も高く、過去11ヶ年の平均値で見ると、収で1,680kg/ha、白米換算1,150kg/ha

となっており、今後の計画では、粳で1,900kg/ha（白米1,300kg/ha）を見込んでいる。ラパス州では、過去8ヶ年の平均が粳で1,290kg/ha（白米877kg/ha）、今後の計画を1,300kg/ha（白米884kg/ha）に、コチャパンバ州では、過去8ヶ年平均が、1,270kg/ha（白米864kg/ha）で、計画を1,380kg/ha（白米938kg/ha）としている。一方、サンフェン移住地の平均収量は、粳で2,000kg/ha（白米1,360kg/ha）程度であり、国の平均をはるかに上回っている。

第5表 米の年次別作付面積および生産量

農 年	面 積 ha	生 産 量 (白米) ton	ha 当り収量 (白 米)
1961~62	26,733	27,000	1.001Kg
62~63	28,511	30,000	1.052
63~64	31,428	33,000	1.050
64~65	32,785	35,900	1.095
65~66	33,524	36,200	1.080
66~67	30,716	38,523	1.254
67~68	33,882	44,592	1.316
68~69	49,294	56,689	1.150
69~70	49,770	43,575	875
71~71	48,088	52,222	1,086
71~72	54,005	50,660	938
72~73	40,073	45,434	1,134
73~74	50,167	62,954	1,255
74~75	64,282	73,526	1,144

資料 (1) Bolivia en Cifras (1961/62~1964/65)

(2) Ministerio de asuntos Campesinos y
Agropecuarios (1965/66~1971/72)

ENCAは、表示のごとく、今後の生産計画を策定しており、毎年6%程度の増産を見込み、'79~'80年度には、主要3州において栽培面積を84,000ha 生産量を粳で15万トンとしているが、この計画達成のためには、農家の技術向上、生産資材の安価安定供給等、種々困難な条件を清して行かなければならないであろう。

第6表 稲の州別作付面積(実績・計画)

ha

年	サンタクルス州	コチャバンバ州	ラ・パス州	計
1968~69	42221	1,607	5,466	49,294
69~70	41,470	2300	6,000	49,770
70~71	37,534	3,088	7,466	48,088
71~72	43,222	3,283	7,500	54,005
72~73	28,095	3,478	8,500	40,073
73~74	39,494	3,873	6,800	50,167
74~75	55,200	4,005	5,077	64,282
1975~76	59,765	4,355	5,462	69,582
76~77	62,706	4,705	5,846	73,257
77~78	65,649	5,055	6,231	76,885
78~79	68,588	5,405	6,613	80,608
79~80	71,529	5,755	7,000	84,284

第7表 稲の州別生産量(実績・計画) トン

年	州	サンタクルス	コチャバンバ	ラ・パス	計	白米換算
1968~69		74889	1920	6559	78904	56689
69~70		53520	2760	7800	64080	43575
70~71		62845	3983	9969	76797	52222
71~72		62574	4235	8250	75059	50660
72~73		53830	4486	8500	66816	45434
73~74		71484	4996	6100	82580	62954
74~75		96600	5527	6000	108127	73526
1975~76		114075	6011	7100	127186	86486
76~77		119075	6495	7600	133170	90555
77~78		124075	6979	8100	139154	94625
78~79		129075	7463	8600	145138	98694
79~80		134075	7947	9100	151122	102763

資料 E. N. A

註 白米換算はE N Aの算出基準に従い68%とした。

3. 消費

現在の人口は、前述のごとくほぼ560万人と推定されるが、この内、消費能力が無いか、または自給により賸っている郊部居住者が360万人おり、主な米消費者は、都市部居住者の200万人に過ぎない。

1974/75の商品化可能な量は、白米にして、全生産量73,520トンの83%にあたる61,000トンであると、ENAでは算出している。

一方、消費実績は、'74年で49,500トンとなっており、'75年には、前年の1%増にあたる50,000トンを見込んでいる。この数値を1人当たりすると、総人口を対象として890g、都市部居住者数を対象としても、年間2.5kgに過ぎず、消費力は極めて低い。

今後の消費動向については、ENAの計画によると、人口増加や生活向上面は、無視し、輸出増を期待して、毎年1%の消費増を見込んでいる。しかし、当国の人口増加率は、近年ほぼ2.6%程度で伸びており、さらに、都市部集中化も、確定的数値は不明なるも、5%程度で進んでおり、生活向上と云う要素を除外しても、第8表に示すごとく、1980年度には、国内消費量が白米で63,800トンとなり、ENA計画の52,600トンとでは、大きな差が生じてくる。ENAは、商品化可能な米量と国内消費との差に、輸出品としての位置づけを期待しているようであるが、上述試算にさら

第8表 米の消費実績および計画・試算

年	① 総人口 (推定)	② 予 想 さ れ る 都 市 人 口	商 品 と な る 白 米 生 産 量	ENAの 消費計画	③ 国 民 1 人 当 り の 消 費 量	④ 予 想 さ れ る 消 費 量
	千人	千人	ton	ton	g	ton
1970	4,926		36,167	43,389	881	
71	5,054		43,344	50,292	995	
72	5,185		42,364	47,334	913	
73	5,320		37,711	49,047	922	
74	5,458		46,609	49,542	908	
75	5,600	2,000	61,026	50,040	894	50,000
76	5,746	2,100	71,786	50,543	890	52,500
77	5,895	2,205	75,161	51,053	866	55,125
78	6,048	2,315	78,539	51,564	853	57,875
79	6,206	2,431	81,916	52,084	839	60,775
80	6,367	2,552	85,293	52,605	826	63,800

- 注 ① 1975年の560万人を基準に年間2.6%の人口伸率で試算した数字。
 ② 1975年の都市人口を200万人と見積り、これを基準に毎年5%の増加を見込んだもの。
 ③ ENAの消費計画量を総人口で割った数字。
 ④ 1975年の都市人口1人当りの消費量2.5kgを不変のものとし、毎年の消費人口に掛けて算出した消費予想量。

に、生活向上から来る消費増を考え合わせると、米を輸出産品とすることは、極めて困難な事が予想しうる。

当国は、3,000 m以上の高冷地帯に半数以上の人口が居住し、特に、都市居住者は、70%以上が高冷地に居住している。この高冷地帯には、食味の良い馬鈴薯が生産されており、現状は、この馬鈴薯が砂粉質食料の主体となっている。一方米は、高地であるため、料理の工夫が無い限り、食味は悪く、単に人口増加だけでは、米食普及はむずかしい。しかし、現在の消費量が、あまりにも低いところから、当然その消費増は、期待しうるであろう。

なお、州別に米消費量を見ると第9表のごとくなる。

4. 流通および価格

従来、当国の米価、流通量は、生産が不安定であり、従い投機性を持ち、価格変動の激しいという特性を持っていた。

そこで、政府は、後述するように、供給、価格の安定を図ることを目的に、ENAを設置した。しかし、このENAも、人員、施設、資金の不足から充分なる活動が出来ず、生産者からの直接買付け量は、サイロ収納用としての30%程度にとどまっている。残りの60%は、従来の米商人であった酒店や精米業者が従来どうりの買付けを行っている。ただ、精米業者からの白米は、全量ENAが買付ける方式をとっている。また、精米事業は、全ての業者が、ENAとの間に精米契約を結び、ENAからの委託事業として運営されている。年間の等級別、事務所別買付け量は第10表、第11表の通りである。また、精米所の数および能力は、第12表の通りである。

販売についても全量をENAが取り扱っており、各州、各都市ごとに卸売業者を指定し、地域ごとに価格を定めて、小売業者への卸売りを行なわせている。ENAから卸売業者への販売量は第13表の通りである。

価格は、流通段階別、等級別、地域別に第14表、第15表、第16表に示すような価格表があり、これが公定価格となっている。この表示の中に銀行渡し価格とあるのは、ENAが銀行から運転資金を借入れる際に担保として、現物(米)を置くが、これに係る経費を加算した銀行への引渡し価格である。

第9表 州別白米消費量（計画及び実績）

トン

年	州	ク、パス	オ、ル、ロ	コ、チ、ャ、ン、パ	サ、ン、タ、ク、ル、ス	チ、ョ、キ、ツ、カ	タ、リ、ハ	ポ、ト、ン	ベ、ニ	パ、ン、ド	合、計
1965		8,078	4,607	3,408	6,658	2,177	1,231	2836	1,673	284	31,551
66		9,496	5,039	3,728	7,282	2,332	1,346	3,105	1,829	311	34,513
67		9,763	5,179	3,834	7,491	2,450	1,385	3,195	1,842	320	35,496
68		11,390	6,047	4,473	8,739	2,858	1,615	3,728	2,195	373	41,417
69		11,932	6,335	4,686	9,155	2,994	1,692	3,905	2,300	390	43,389
70		11,932	6,335	4,686	9,155	2,994	1,692	3,905	2,300	390	43,389
71		13,830	7,343	5,432	10,612	3,470	1,961	4,526	2,666	453	50,292
72		13,017	6,911	5,112	9,988	3,266	1,846	4,260	2,509	426	47,324
73		13,488	7,161	5,297	10,349	3,384	1,913	4,414	2,600	441	49,047
74		13,624	7,233	5,351	10,453	3,418	1,932	4,459	2,626	446	49,542
75		13,769	7,313	5,411	10,529	3,469	1,970	4,500	2,646	437	50,043
76		13,907	7,386	5,465	10,634	3,504	1,990	4,545	2,672	441	50,543
77		14,046	7,460	5,520	10,741	3,539	2,010	4,590	2,699	450	51,053
78		14,186	7,534	5,575	10,848	3,574	2,030	4,636	2,726	454	51,564
79		14,328	7,610	5,631	10,957	3,610	2,050	4,683	2,753	464	52,084
80		14,472	7,686	5,687	11,066	3,646	2,071	4,730	2,781	468	52,605

註 EN.Aの資料qq表示をtonに換算したものである。(qq=45.36kg)

第10表 米の事務所別買付け量(1974年生産分)

月	サンクルース		コチャパンバ		合 計
	量 qq	割合%	量 qq	割合%	
1					
2	1,595	0.3			1,595
3	26,776	5.3			26,776
4	108,434	21.4	3,376	3.73	111,812
5	162,946	32.1	2,592	2.86	165,538
6	93,509	18.4	1,202	1.33	94,711
7	80,722	16.0	809	0.90	81,501
8	26,316	5.1	1,073	1.18	27,389
9	6,579	1.3	-	-	6,579
10	414	0.1	-	-	414
合 計	507,291	100	9,054	100	516,345

qq: キンクール 45.36kg (1袋)

事務所別買付け割合

サンクルース事務所	507,291 qq (23,335 ton)	98.25%
コチャパンバ事務所	9,054 qq (416 ton)	1.75%
合 計	516,345 qq (23,752 ton)	100%

資料: ENA

第11表 米の等級別買付け量(1973年 生産分)

月	等級	1 等	2 等	3 等	4 等	合 計
		Extra, Super	Super	Buena	Popurur	
3		-	-	-	92	92
4		1,045	189	15,679	74,237	91,130
5		1,824	214	13,741	107,082	122,861
6		8,988	73	10,334	42,148	61,543
7		462	59	11,431	23,403	35,355
8		310	-	9,153	9,153	18,616
9		42	-	7,800	6,766	14,608
10		-	-	2,268	94	2,362
合 計		12,671	515	70,406	262,975	346,567

事務所別買付け量

サンクルース事務所	335,850 qq (15,113 ton)	96.9%
コチャパンバ事務所	10,717 qq (422 ton)	3.1%
合 計	346,567 qq (15,595 ton)	100%

資料: ENA

第12表 精米施設の数と能力 (1975年12月現在)

州	精米所数	精米能力			
		1時間 当り qq	8時間 当り qq	1週間 当り qq	1ヶ月 当り qq
サンタクルス	31	1,290	10,320	51,600	206,400
コチャパンバ	7	120	960	4,800	19,200
ラパス	6	140	1,120	8,960	35,840
合計	44	1,550	12,400	65,360	261,440

資料: ENA

第13表 米の州別販売量

州	1973年		1974年		増減
	量 qq	割合 %	量 qq	割合 %	
ラパス	89,497	262	146,249	326	56,252
オルロ	103,737	302	113,400	252	9,663
コチャパンバ	66,599	194	60,902	126	5,697
サンタクルス	87,281	196	89,567	199	2,286
ポトシ	8,680	25	22,470	50	13,790
チュキサカ	3,520	11	16,670	37	13,150
タリハ	3,720	10	4,410	10	690
合計	363,534	100	448,985	100	90,134

第14表 米の地域別、等級別価格（白米） b\$/qq

年度	等級	ラバ		サンタクルス		オロ		コチャバンバ		スークレ		ポトシ	
		買値	卸売値	買値	卸売値	買値	卸売値	買値	卸売値	買値	卸売値	買値	卸売値
1971年	1等	7300	12500	7300	-	7300	12300	7300	11900	7300	12000	7300	12400
	2◇	7100	11500	7100	-	7100	11300	7100	10900	7100	11000	7100	11400
	3◇	7000	9900	7000	-	7000	9700	7000	9300	7000	9400	7000	9800
	4◇	6500	9500	6500	-	6500	9300	6500	8900	6500	9000	6500	9400
1972年	1等	8000	12500	8000	-	8000	12300	8000	11900	8000	12000	8000	12400
	2◇	7500	11500	7500	-	7500	11300	7500	10900	7500	11000	7500	11400
	3◇	7000	9900	7000	-	7000	9700	7000	9300	7000	9400	7000	9800
	4◇	6500	9500	6500	-	6500	9300	6500	8900	6500	9000	6500	9400
1973年	1等	15000	20500	15000	18000	15000	20200	15000	19700	15000	-	15000	-
	2◇	14000	19300	14000	16850	14000	19800	14000	18530	14000	-	14000	-
	3◇	12600	18000	12600	15500	12600	17600	12600	17100	12600	-	12600	-
	4◇	11600	16800	11600	14450	11600	16500	11600	16050	11600	-	11600	-

注 ① 1等=Class Extra-superior. 2等=Superior. 3等=Buena. 4等=Popularとした。
 ② 買値は穀物からの買入価格（生産者価格）、卸売値は卸業者が小売業者に売渡す価格である。

資料: Conar ENA

第15表 米の地域別、等級別価格(1974年 白米)

等級	bS/qq							
	1等 Extra-Sup	2等 Superior	3等 Buena	4等 Popular	5等 Popular II	6等 Popular III	砕米1等 Prim-Granillo	砕米2等 Segun-Granillo
ラパス								
生産者価格	301.00	276.00	261.00	241.00	221.00	206.00	141.00	121.00
精米所	401.70	378.70	355.70	331.80	309.70	287.70	182.50	160.30
銀行買	423.70	400.70	377.70	359.80	331.70	309.70	210.00	187.80
卸売	431.00	408.00	384.70	360.00	338.70	316.40	216.40	193.30
小売	437.00	414.00	391.00	368.00	345.00	322.00	220.80	197.80
コチャバンバ								
生産者価格	301.00	276.00	261.00	241.00	221.00	206.00	141.00	121.00
精米所	414.00	391.00	368.00	344.10	322.00	300.00	199.50	177.30
銀行買	414.00	391.00	368.00	344.10	322.00	300.00	199.50	177.30
卸売	419.20	396.20	373.00	349.70	327.00	304.70	203.50	181.00
小売	423.20	400.20	377.20	354.20	331.20	308.20	207.00	184.00
ナンタクルス								
生産者価格	301.00	276.00	261.00	241.00	221.00	206.00	141.00	121.00
精米所	397.00	374.00	351.00	327.10	305.00	283.00	182.50	160.30
銀行買	397.00	374.00	351.00	327.10	305.00	283.00	182.50	160.30
卸売	406.00	383.00	360.00	336.50	314.00	291.50	188.90	165.80
小売	414.00	391.00	368.00	345.00	322.00	299.00	193.20	170.20
オルロ								
銀行買価格	420.70	400.70	374.70	350.80	328.70	309.70	208.50	186.30
卸売	427.20	408.00	381.20	357.40	334.90	316.40	212.50	190.90
小売	432.40	409.40	386.40	363.40	340.40	317.40	216.50	193.20
ポトシ								
銀行買価格	421.00	398.00	375.00	351.10	329.00	307.00	-	-
卸売	427.20	404.20	381.40	355.60	335.20	312.90	-	-
小売	432.40	409.40	386.40	358.80	340.40	317.40	-	-
チユキサカ								
銀行買価格	410.70	387.70	364.70	340.80	318.70	296.70	-	-
卸売	415.20	392.20	369.20	345.70	323.00	300.70	-	-
小売	418.60	395.60	372.60	349.60	326.60	303.60	-	-
タリハ								
銀行買価格	425.00	402.00	379.00	355.10	333.00	311.00	-	-
卸売	431.50	408.50	385.50	359.90	339.50	317.20	-	-
小売	437.00	414.00	391.00	363.40	345.00	322.00	-	-

資料: ENA

第16表 米の地域別、等級別価格 (1975年 白米)

等級	bS/qq							
	1等 Extra-Supe	2等 Superior	3等 Buena	4等 Popular	5等 Popular II	6等 Popular III	碎米1等 Prime-Granillo	碎米2等 Segan-Granillo
ラパス								
生産者価格	309.00	284.00	269.00	249.00	229.00	214.00	174.00	154.00
精米所 *	401.70	378.70	355.70	331.80	309.70	287.70	235.50	212.50
銀行渡 *	423.70	400.70	377.70	353.80	331.70	309.70	260.00	240.00
卸売 *	431.00	403.00	384.70	360.00	338.70	316.40	-	-
小売 *	437.00	414.00	391.00	368.00	345.00	322.00	-	-
コチャバンバ								
生産者価格	309.00	284.00	269.00	249.00	229.00	214.00	174.00	154.00
精米所 *	414.00	391.00	368.00	344.10	322.00	300.00	232.50	212.50
銀行渡 *	414.00	391.00	368.00	344.10	322.00	300.00	249.50	229.50
卸売 *	419.20	396.20	373.00	349.70	327.00	304.70	-	-
小売 *	423.20	400.20	377.20	354.20	331.20	308.20	-	-
サンタクルス								
生産者価格	309.00	284.00	269.00	249.00	229.00	214.00	174.00	154.00
精米所 *	397.00	374.00	351.00	327.10	305.00	283.00	232.50	212.50
銀行渡 *	397.00	374.00	351.00	327.10	305.00	283.00	232.50	212.50
卸売 *	406.00	383.00	360.00	336.50	314.00	291.50	-	-
小売 *	414.00	391.00	368.00	345.00	322.00	299.00	-	-
オルロ								
銀行渡価格	420.70	402.70	374.70	350.80	327.70	306.70	258.50	238.50
卸売 *	427.20	409.40	381.20	357.40	334.90	312.90	-	-
小売 *	432.40	414.40	386.40	363.40	340.40	317.40	-	-
ポトシ								
銀行渡価格	421.00	398.00	375.00	351.10	329.00	307.00	-	-
卸売 *	427.20	404.20	381.40	356.60	335.20	312.90	-	-
小売 *	432.40	409.40	386.40	368.80	340.40	317.40	-	-
チキナカ								
銀行渡価格	410.70	387.70	364.70	240.80	318.70	296.70	-	-
卸売 *	415.20	392.20	369.20	345.70	323.20	300.70	-	-
小売 *	418.60	395.60	372.60	349.60	326.00	303.60	-	-
タリハ								
銀行渡価格	425.00	402.00	379.00	355.10	333.00	311.00	-	-
卸売 *	431.50	408.50	385.50	359.00	339.50	317.20	-	-
小売 *	437.00	414.00	391.00	363.40	345.30	322.00	-	-

資料: ENA

5. 輸出・輸入

当国の米の輸入実績は、第17表のとおりであり、1968年をさかいとして、輸入国から輸出国に転換している。しかし、その数量は極めて少なく、特に1973年、1974年には、取引がなく、事実上は、海外取引対象の商品としての位置づけはなされていないといえよう。

政府は、米を輸出商品として位置づけることを期待しているし、今後の生産いかによっては、市場を海外に向けることも必要になるであろうが、現状では、内需に対する供給自体が問題であるし、さらに、内需に対して供給過剰時点が到来しても、商品価値という観点から見て、大きな問題を残している。つまり、前述した生産レベルにしろ、調整、貯蔵レベルにしろ、その技術は、国際市場に対応しうるものではない。ちなみに、E.N.A.の持つペナビスタの24,000トンのサイロでの貯蔵を見ても、数品種が混入貯蔵されている状態である。普通輸出にあたっては、最低1,000トンの同一品質商品を集荷する必要がある。

第17表 米の輸出入

年	輸 入			輸 出		
	数 量 ton	金 額 us\$	単 価 us\$	数 量 ton	金 額 us\$	単 価 us\$
1965	287	38,634	134.6	-	-	-
66	2,299	298,408	129.8	-	-	-
67	41	4,663	113.7	-	-	-
68	-	-	-	-	-	-
69	-	-	-	92	19,282	209.6
70	-	-	-	644	120,442	187.0
71	-	-	-	71	15,241	214.7
72	-	-	-	1,773	238,277	134.4
73	-	-	-	-	-	-
74	-	-	-	-	-	-
75	6,000	2,433,600	405.6	-	-	-

資料：División de estadísticas del Ministerio de
Agricultura
Empresa Nacional del Arroz
※ 国境渡し価格 (Puesto frontera)

なお、1975年の6,000トンの輸入は、当年産米出荷前の荷薄時に価格暴騰を防ぐ一時的処置で、当量見合いの輸出を考えているとのことである。

6. ENA

ENA (Empresa Nacional del Arroz) は、米を対象に従来の無秩序な流通事情を改善し、計画的生産と安定供給を行なう事を目的に1972年7月に、Decreto Superma No 10394によって設置された。

業務内容は、1973年5月14日 Resolucion Superma No 167838によって定められており、国内においては、米の専売権を持ち、独自の貯蔵施設を所有して、買付け、貯蔵、販売を行なっている。また精米所に対しては、精米契約により、精米事業を委託する型をとっており、仮に、精米業者が、ENAの業務内容を侵害したような場合（精米所が白米を直接第三者に販売したような場合）の罰則規定をも設けている。

ENAの機構（調査時点）は、ラパスに本部を置き、ラパス、サンタクルス、コチャバンバ、オルロに事務所を、プエナピスタにサイロを置いている。職員数は約150名で、内サンタクルス事務所には45名、プエナピスタのサイロには30名が配位されている。

運営費は、取扱手数料で全てを賄っている。手数料は1qq(45.364g) 当たり b\$ 30となっている。

米の買付資金は、中央銀行からの融資によっており、1975年はUS\$ 9,000万を借入れている。

